

概要

電気を安全に使用するためには「低圧電路の絶縁性能」を維持・管理することが非常に大切です。最近では、停電作業を伴わない、クランプメータによる漏れ電流の測定が普及していますが、クランプメータでは「容量分漏れ電流」(注1)と「抵抗分漏れ電流」(注2)が合成された値として表示されます。

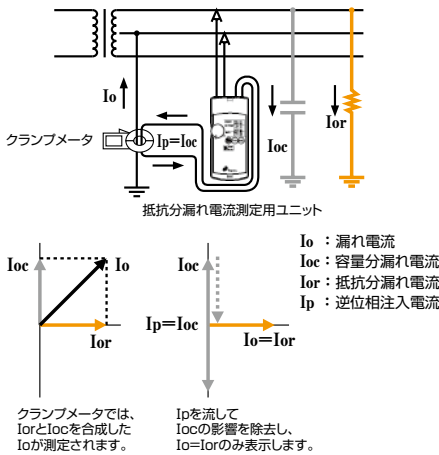
本製品は、より適切な絶縁管理を行うため市販のクランプメータとの組合せで抵抗分漏れ電流のみ測定可能とした、業界初の「抵抗

分漏れ電流測定用ユニット」であり、容量分漏れ電流の影響を除去する電流をクランプメータに注入する「逆位相電流注入方式」を採用しています。

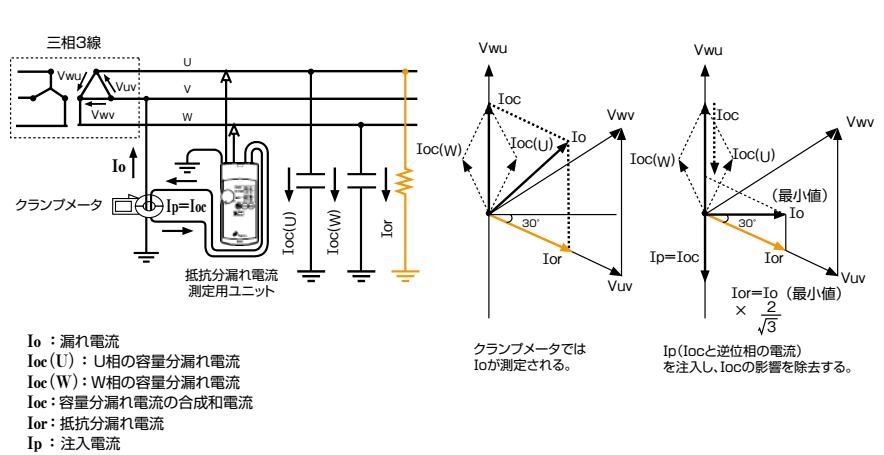
(注1)「容量分漏れ電流」(Ioc)とは、地絡事故が無くても対地静電容量を通して常時流れている漏れ電流のことです。

(注2)「抵抗分漏れ電流」(Ior)とは、地絡事故が原因で流れている漏れ電流のことです。

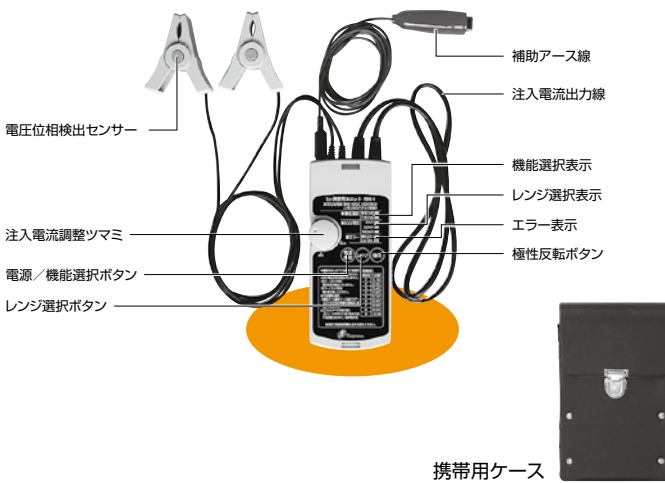
動作原理(単相電路)



動作原理(三相3線式電路)



各部名称



仕様

| 型式 | | RM-1 |
|-----------------|---|----------------------|
| 名称 | 抵抗分漏れ電流測定用ユニット | |
| 略称 | Ior(アイ・ゼロ・アール)測定用ユニット | |
| 適用電路 | 単相2線式、単相3線式、三相3線式(デルタ結線のみ) | |
| 定格電圧 | 100V、100/200V、200V | |
| 注入電流 可変範囲 | 2mAレンジ | 0~2mA |
| | 20mAレンジ | 0~20mA |
| | 100mAレンジ | 0~100mA |
| 注入電流周波数 | 50Hz/60Hz(正弦波) | |
| 注入電流 角度 | 単相モード | 線間電圧位相に対し -90° ±5° |
| | 三相モード | 線間電圧位相に対し -180° ±10° |
| 電圧位相検出センサー | 外径φ6~φ26mmまでの絶縁電線(8~200mm ²)をクランプ可能 | |
| 電源 | 単3アルカリ乾電池(LR6) 4本 | |
| 連続使用可能時間 | 約30時間(アルカリ乾電池・出力電流100mAの場合) | |
| 外形寸法(タテ×ヨコ×ワカサ) | 165×70×26mm(突起部を除く) | |
| 質量 | 約250g(電池を含む) | |
| 使用周囲温度 | 0~40°C(ただし、氷結・結露のないこと) | |
| 付属品 | 注入電流出力線 | 1本(LANケーブル・1m・黒色) |
| | 補助アース線 | 1本(クリップ付・1m・緑色) |
| | 乾電池 | 4本(単3アルカリ乾電池(LR6)) |
| | 取扱説明書 携帯用ケース | 1部 1個 |
| ご注文品番 | RM1S | |
| 納期区分 | ◎ | |
| 標準価格(円) | 17,200 | |

操作手順

- 電圧位相検出センサーを測定したい電路の電線被覆にクリップします。
・単相電路：L1、N、L2のいずれか2線にクリップします。
・三相電路：接地相以外の電圧相の2線にクリップします。
補助アース線を接地端子または接地されている金属部にクリップします。
- クランプメータのCTIに注入電流出力線を貫通します。
- 電源ボタンを長押ししてONします。
- 機能選択ボタンを押して、測定電路(単相または三相)を選択します。
- レンジ選択スイッチを押して、漏れ電流(Io)の大きさに応じた注入電流を選択します。(2mA/20mA/100mA)
- 注入電流調整ツマミを回して、クランプメータの測定値が最小となるように調整します。測定値が減少しない場合は、極性反転ボタンを押して注入電流の向きを逆にしてください。
- 注入電流調整ツマミを回して、クランプメータの測定値が最小となった値がIorです。(三相電路の場合はクランプメータの表示値に1.15(2/√3)を掛けた値がIorとなります。)
- 測定終了後、電源ボタンを長押ししてOFFします。

付属品単体価格

| 名称 | 注入電流出力線 | 補助アース線 |
|---------|---------|--------|
| ご注文品番 | RM1SA | RM1SB |
| 納期区分 | ⑤ | ⑤ |
| 標準価格(円) | 530 | 1,270 |

H
あんしん生コン
漏電リレー
一級漏電火災
警報器
100Vテスター
電気工事
チャッカー
ライター
チャッカー
漏電遮断器用
テスタ
アーステスタ
メオームテスタ
絶縁チャッカー
電動工具
生産終了品